

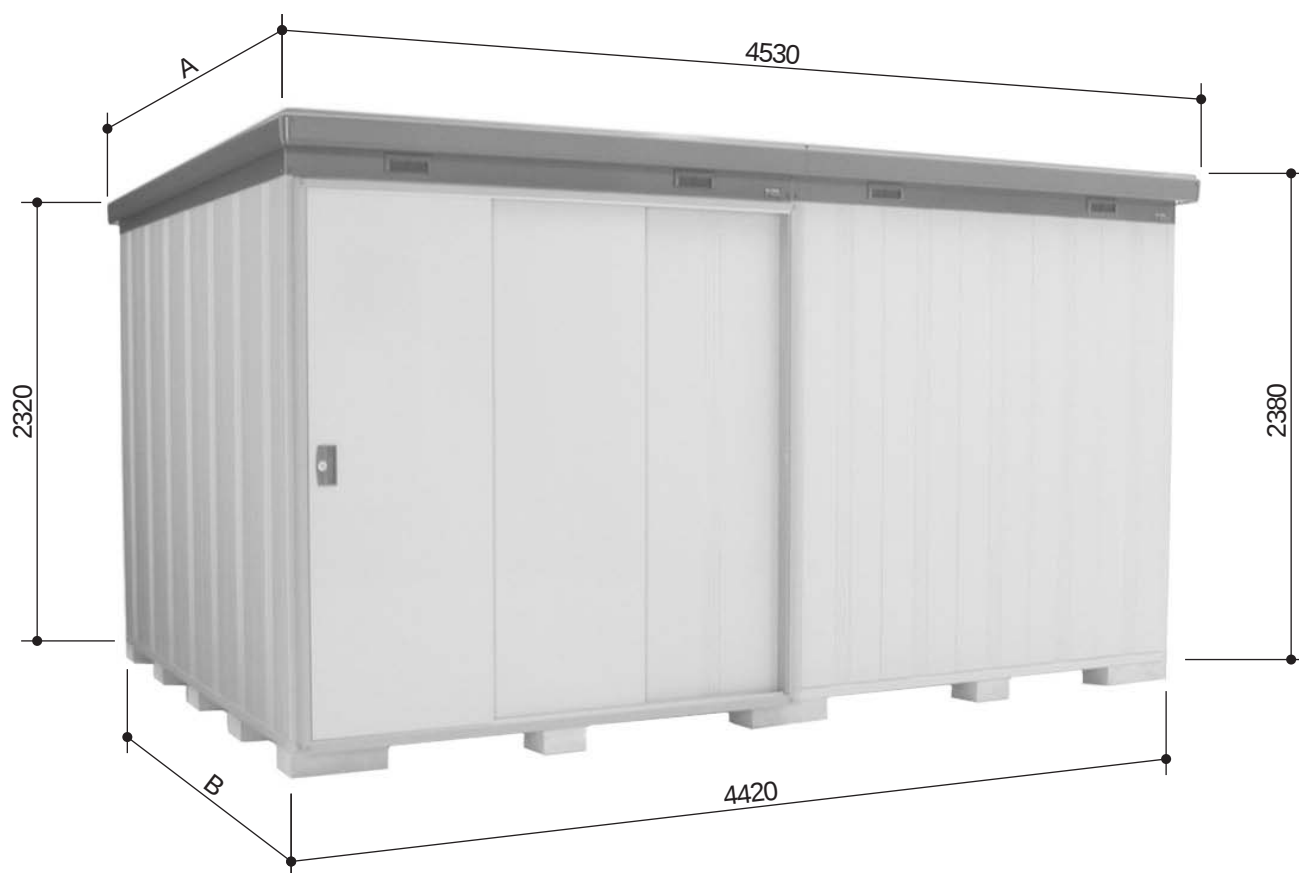


MBW-81H MBW-98H MBW-118H MBW-135H MBW-155H

イナバ物置 組立説明書 -135-

はじめに

このたびは、イナバ物置「ベイシー」をお買い上げくださり誠にありがとうございました。
私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。
どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
なお、この製品の組み立て、ご使用にあたっての注意についてご説明いたしますので、かならずお読みください。



MBW-81H・98H・118H・135H・155H型 寸法図
(写真は、MBW-135H型です。)

[単位: mm]

機 種	A寸法	B寸法
MBW-81H	2020	1790
MBW-98H	2440	2210
MBW-118H	2860	2630
MBW-135H	3280	3050
MBW-155H	3700	3470



組み立てにあたっての注意事項

1. 風の強い日の組み立ては避けてください。
2. 30kg以上の梱包や部材の運搬・組立は、2人以上で行ってください。
3. 高さが2mを超えるものの組立には脚立等を使用し、安全確認の上作業してください。
4. 組立中は部材の転倒防止のために、つかい棒やロープなどをお使いください。
5. 組立途中で放置しないでください。



株式会社 稲葉製作所

■ 梱包別部品一覧表

- イナバ物置MBW -81H型の部品は、24梱包 (98Hは27梱包、118H型は28梱包、135Hは30梱包、155Hは33梱包) に分けられ下記の部品が入っております。個数と内容をご確認のうえ、組立順序に従って組み立ててください。
- 品番が白抜番号の部品には、製造番号が打っております。組立の時万が一不具合が生じた場合は、必ずその部品の製造番号を確認のうえご連絡ください。

MBW -81H型

下記の部品のほかに、コンクリートブロック8個、半ブロック7個、セメント15kg、砂27L、砂利36L以上を準備してください。

梱包番号 F1-6010				梱包番号 F1-5315×2 梱包				梱包番号 F1-5240×2 梱包				
品番部	品名	数		品番部	品名	数		品番部	品名	数		
●部	品箱	1		6床	パネルM	3		23母	品	数	2	
(A)水	準器	1		多雪地型の時) 梱包番号 F9-5240×2 梱包 品番部 品名数 23多雪母屋中 2								
(B)ス	パナ	1										
(C)ネ	ジ板	106+4										
(D)パッキン付ネジ板		76+2										
(E)ボ	ルト	272+6		梱包番号 F1-1920								
(F)ネ	ジ板	B5		品番部	品名	数		品番部	品名	数		
GアンカープレートE		4		11柱	後左右	H	2	11柱	後左右	H	2	
(H)屋根パッキン		10		12柱	前左右	H	2	12柱	前左右	H	2	
(I)ボルトキャップK		16+2		44支柱	N	H	2	44支柱	N	H	2	
ボルトキャップ		127+2		41棚支柱	A	H	1	41棚支柱	A	H	1	
アンカープレートB		2		梱包番号 F1-1921								
鼻隠し前取付金具		1		品番部	品名	数		品番部	品名	数		
梁中受け金具		2		16柱	後中	H	1	16柱	後中	H	1	
				17柱	前中	H	1	17柱	前中	H	1	
				41棚	支柱	A	H	2	41棚	支柱	A	H
梱包番号 F1-6012				梱包番号 F1-5130×2 梱包				梱包番号 F1-1451×5 梱包				
品番部	品名	数		品番部	品名	数		品番部	品名	数		
1土	台後	2		14桁	前	1		31壁	パネルH	4		
3土	台左右	2		15桁	後	1						
5根	太	1		梱包番号 F1-5131								
梱包番号 F1-6013				品番部	品名	数		品番部	品名	数		
品番部	品名	数		1土	台後	2		71	サイド扉枠左	H	1	
5根	太	1		25R鼻	隠し前右	1		72	サイド扉枠右	H	1	
8土	台中	1		25L鼻	隠し前左	1		73	サイド扉鴨居	H	1	
9土	台中カバ	1		26R鼻	隠し後右	1		74	サイド扉敷居	H	1	
27梁	中	1		26L鼻	隠し後左	1		75	サイド扉支柱H	2		
								部	品	袋	1	
梱包番号 F1-5215				梱包番号 F1-4036				梱包番号 F9-1561				
品番部	品名	数		品番部	品名	数		品番部	品名	数		
6床	パネルM	2		21妻	板右	1		33	サイド扉正面パネルH	1		
				22妻	板左	1		34	サイド扉中H	1		
								35	サイド扉前H	1		

組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所はボルト締めのためにはありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなったり穴が合わない場合がありますので、この場合はネジをゆるめ調整してください。

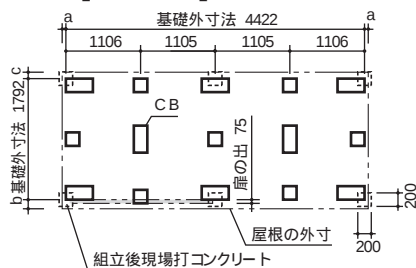
1. 基礎施工

地ならし、地固めを充分にしてコンクリートブロックを基礎伏図に従い、水準器を使って水平に設置します。基礎が水平に置かれていない場合には、戸当たりが悪くなったり、雨もり等の原因になることがあります。

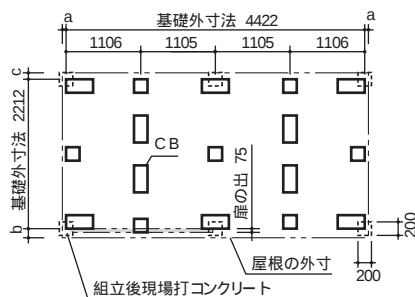
安全確保のため、転倒防止工事には充分注意してください。

■ 基礎施工図 [単位 :mm]

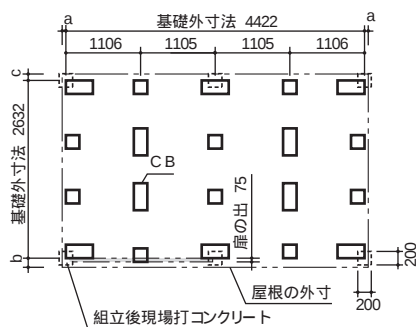
a b dは屋根の出幅です。a=55, b=135, c=95



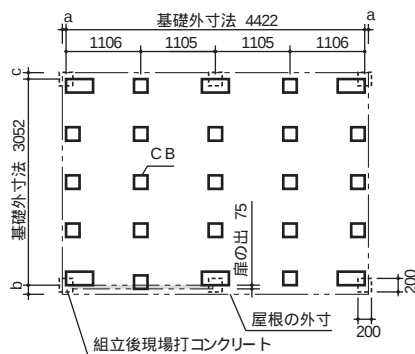
MBW -81H



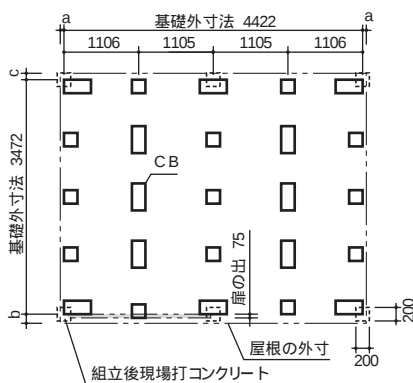
MBW -98H



MBW -118H



MBW -135H



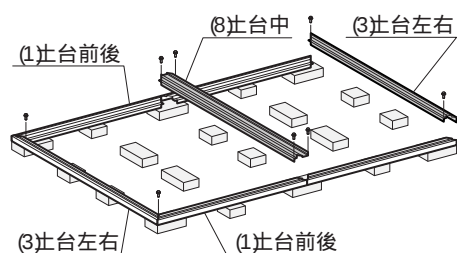
MBW -155H

■ 基礎詳細図 [単位 :mm]

基礎断面	地盤が土の場合	地盤がコンクリートの場合	柱前後中央部
	寸法 : 100~120mmに対応 オールアンカー M 10 (市販品) が4本必要になります。	寸法 : 135~175, 190mmに対応 オールアンカー M 10 (市販品) が4本必要になります。	地盤に関係なく埋め込んで ください。

2 土台枠組

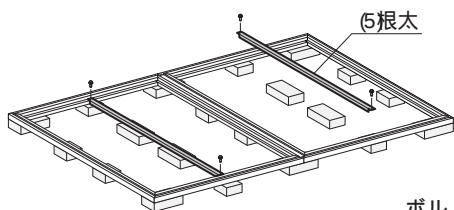
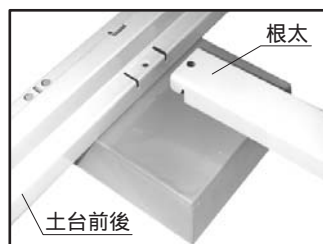
(1)土台前後をブロックの上に置き、(3)土台左右・(8)土台中をボルトで取り付けます。
本文中では、118H型を例に説明します。



ボルト = 8本

3 根太取付

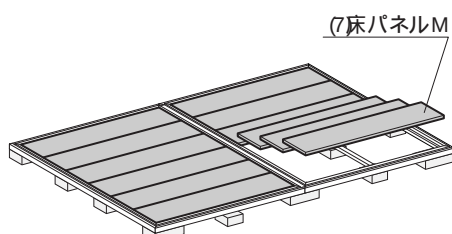
(5)根太のベロを土台前後の角穴に入れ、ボルトで取り付けます。
土台の水平をもう1度確認してください。



ボルト = 4本

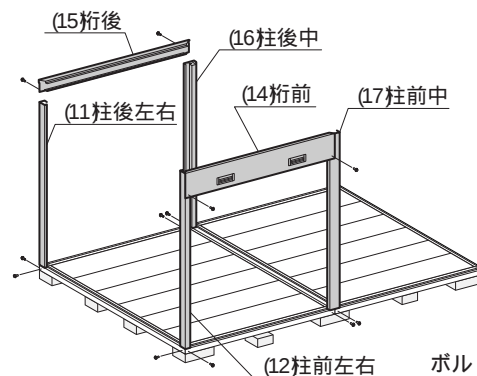
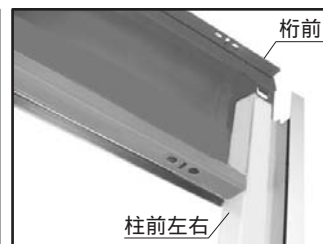
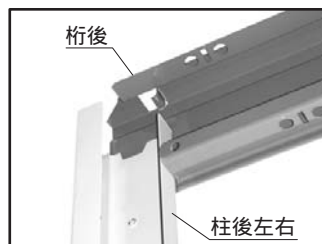
4 床パネル取付

(6)床パネルMをはめ込みます。



5 柱・桁前後取付

(11)柱後左右、(12)柱前左右、(16)柱後中、(17)柱前中を土台の角穴に差し込み、ボルトで取り付けます。次に(14)桁前、(15)桁後のベロを柱に引っ掛けボルトで取り付けます。

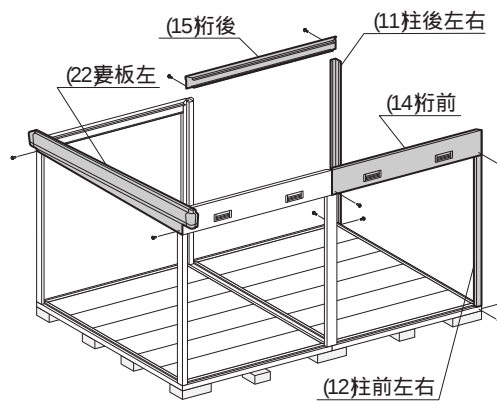
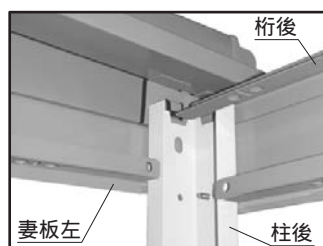


ボルト = 12本



6 妻板・柱・桁前後取付

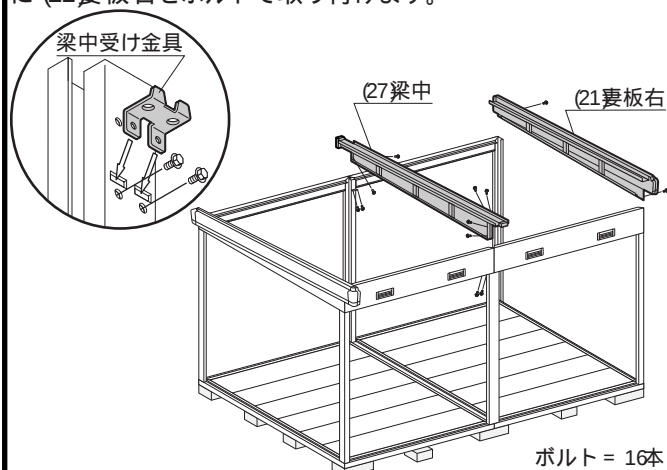
(22)妻板左のベロを柱前後に引っ掛け、ボルトで取り付けます。次に「5 柱・桁前後取付」と同じ要領で柱前後左右を立て桁前・桁後を取り付けます。



ボルト = 10本

7 梁中・妻板右取付

柱前後中に梁中受け金具をボルトで取り付け、(27梁中を柱前中と柱後中に渡し、内側からボルトで固定します。次に(21妻板右をボルトで取り付けます。

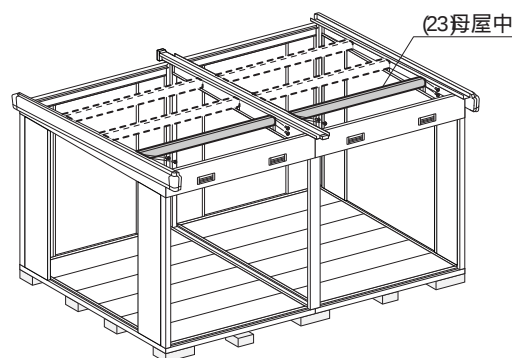


9 母屋中取付

(23)母屋中 1本を妻板左右・梁中の母屋受けにはめ込み、ボルトで取り付けます。残りの母屋中は「10屋根パネル取付」後セットすると安全かつ容易に組み立てられます。

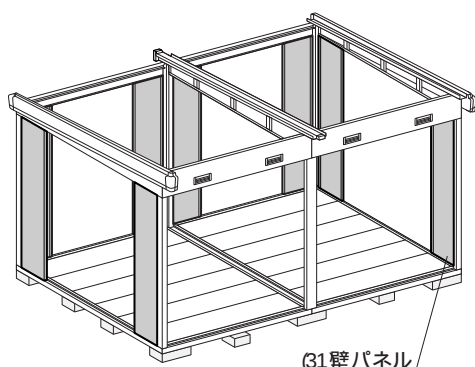


	ボルト
81・98H	16本
118・135H	24本
155H	32本



8 壁パネル取付

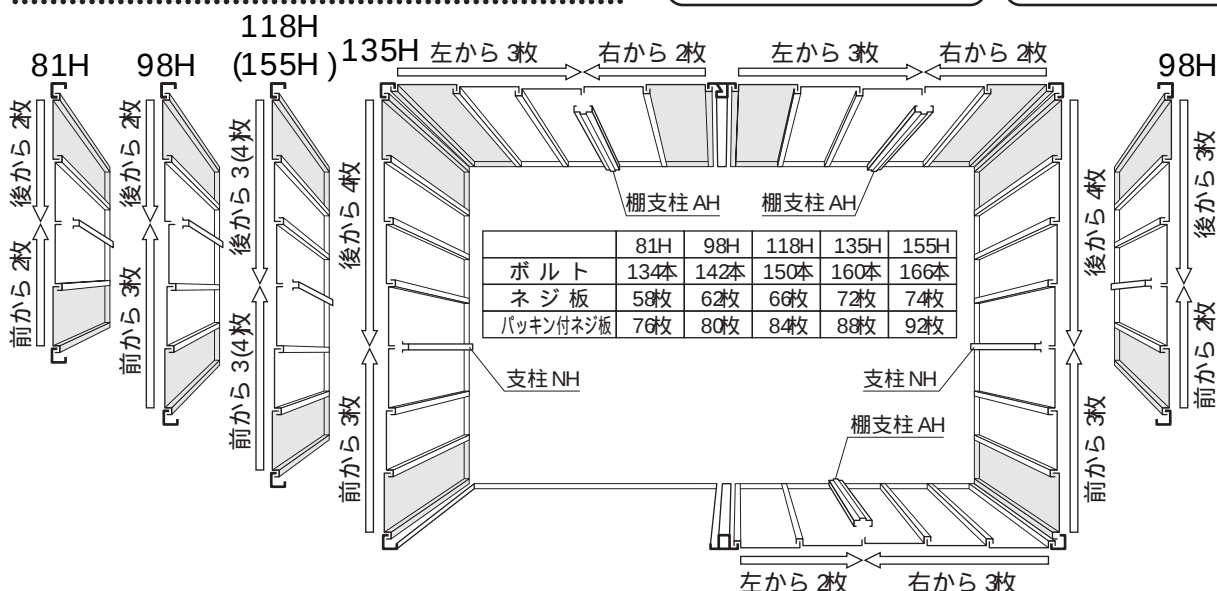
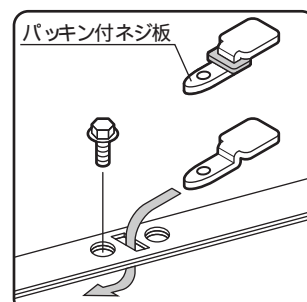
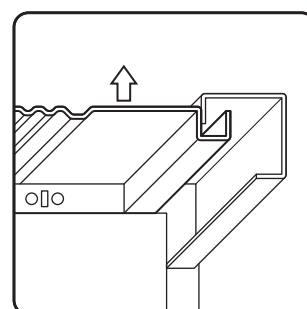
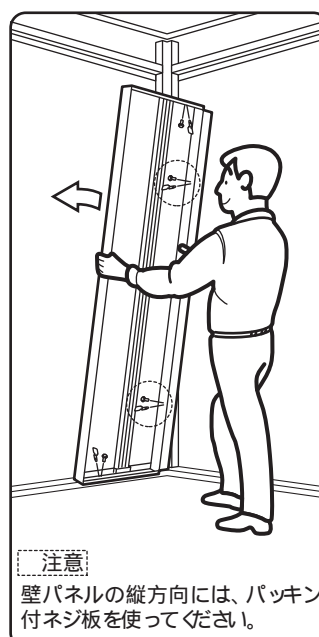
(31)壁パネル 8枚を下図のように内側から柱にボルトとネジ板で取り付けます。(ゆがみや倒れの防止になります。)
下図の壁パネルの位置に別売のガラス窓等が付く場合は、壁パネルの取付は不要です。



● 壁パネル組合せ図

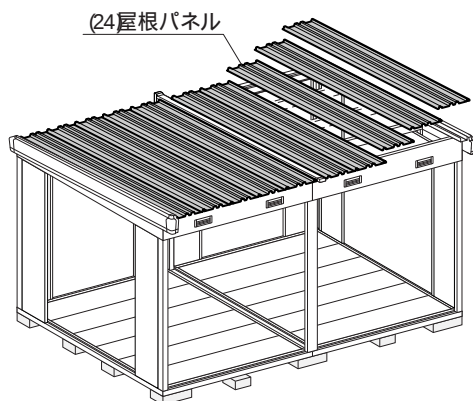
壁パネルの組立順が違いますと、棚板が付かない・雨もりがする等の原因となります。
部以外の壁パネルは、「13土台中カバー取付」で取り付けてください。

注意 側面の壁パネルは、機種によって前後からの枚数が違うので注意してください。

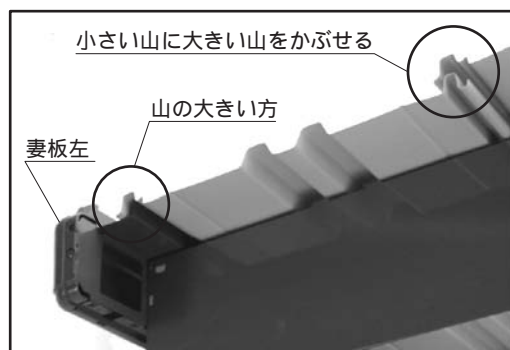


10 屋根パネル取付

②4屋根パネルを妻板左からつなぎ目をかみ合せてのせ、桁前後にボルトとネジ板で取り付けます。次に母屋中をセットし、同じ要領で取り付けます。

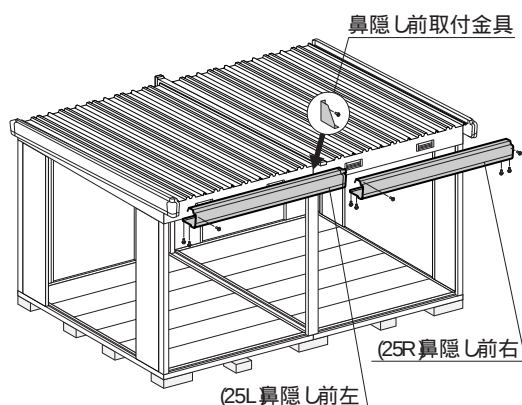


	81・98H	118・135H	155H
ボルト	48本	58本	68本
ネジ板	48枚	58枚	68枚



11 鼻隠し前取付

桁前のつなぎ目の角穴に鼻隠し前取付金具のペロを引っかけボルトで取り付けます。②5L鼻隠し前左・②5R鼻隠し前右の順に屋根にかぶせボルトで取り付けます。

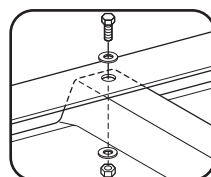


ボルト = 10本

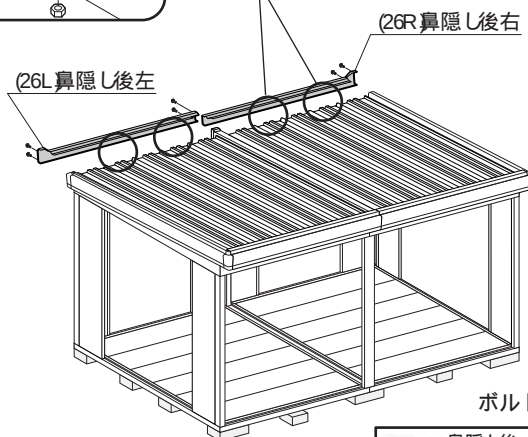


12 鼻隠し後取付

②6R鼻隠し後右・②6L鼻隠し後左の順に屋根にかぶせボルトで取り付けます。別売の雨といは、ここで取り付けます。

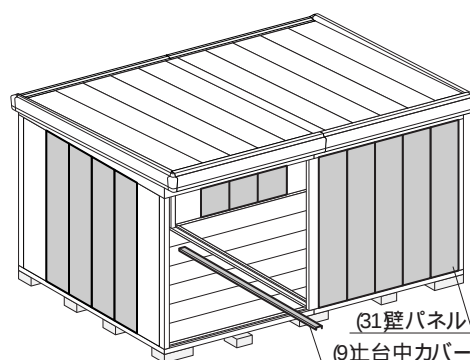


○印の屋根パネル後部と鼻隠し後を左図のようにステンレスのボルトとナットで4ヶ所固定してください。



13 土台中カバー取付

⑨土台中カバーを土台中の凹部にはめ、床面をフラットにします。次に③1壁パネルを「8壁パネル取付」の●壁パネル組合せ図に従って全て取り付けます。別売のガラス窓は、ここで取り付けます。



14 屋根パッキン取付

ホコリの侵入を防ぐため、屋根パッキンを桁後と屋根パネルのつなぎ目に押し込みます。妻板右・梁中の左側は、スキマが小さいので不要です。

屋根パッキン = 10個

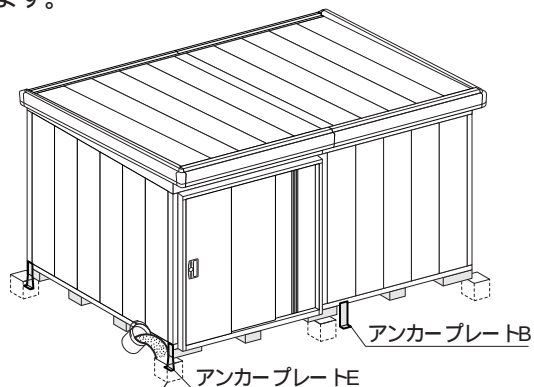


15 サイド扉取付

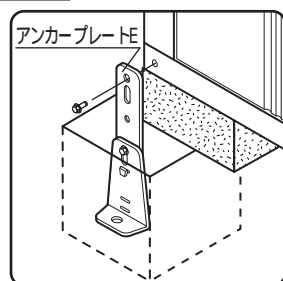
サイド扉部分の組立説明書は、梱包番号【F9-1560】の中に入っています。

16 アンカー取付

A) 地盤が土の場合は、柱下に20cm角の穴を掘り、アンカープレートを取り付け、コンクリートを打ち込みます。



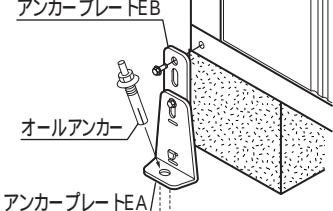
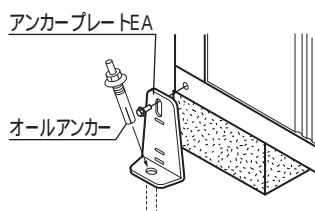
1ヶ所にセメント 2.5kg 砂 4.5l
砂利 6l以上が必要です。



B) 地盤がコンクリートの場合は、アンカープレートEを取り付け、M10オールアンカー(市販品)で固定します。【アンカープレートBは埋め込み方式です。】

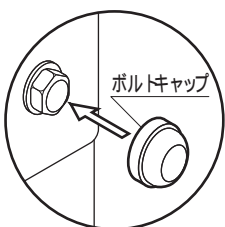
■ 基礎高 100~120mmの場合
(EBをはずし、EAだけを使います。)

■ 基礎高 135~175、190mmの場合
(EA、EBの組替えて長さを調節してください。)

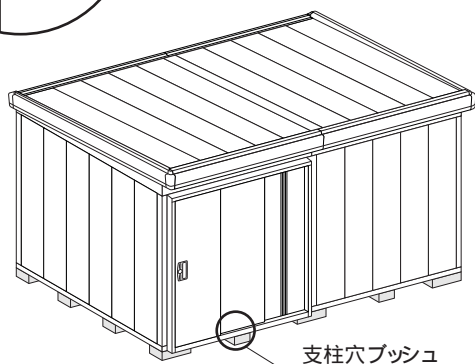
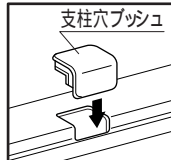


17 完成

外に出ているボルトにボルトキャップを取り付け、部品箱内のメッセージカードの中にある型式シールを所定の位置に貼りつけ、完成です。



サイド扉の開口部に
角穴が見える場合は、
支柱穴ブッシュを取
り付けてください。

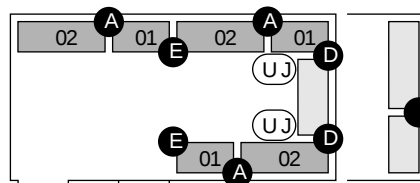


別売棚板

別売の棚板は、下記のような配置になります。機種と略番を確認の上、取り付けてください。

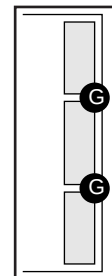
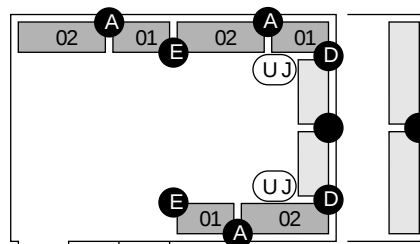
標準棚板 奥行:450mm の場合

■ 81H・98Hの時



■ 118H・135H・155Hの時

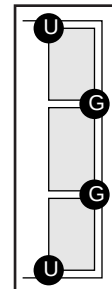
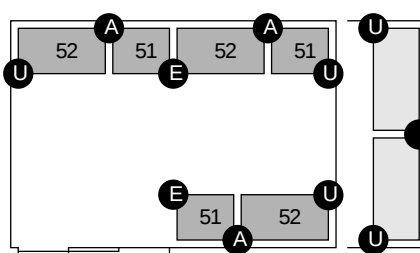
□内は155H



ワイド棚板 奥行:642mm の場合

【注意】ワイド棚板は、交差しての取り付けはできません。

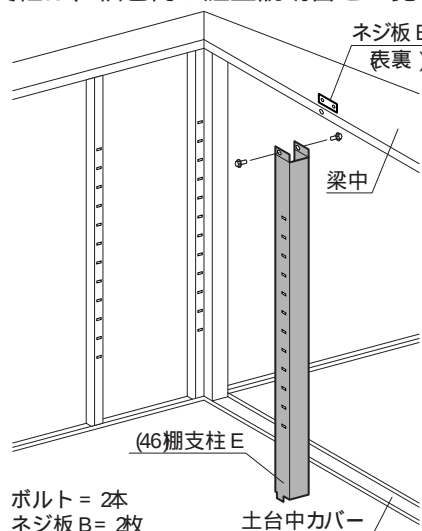
□内は155H



略番						
81H	01	01	03	51	51	J
98H	02	01	05	52	51	J
118H	02	02	36	52	52	J
135H	20	20	14	70	70	G
155H	44	28	40	94	78	J

参考 棚支柱E取付

(46)棚支柱Eは下部のベロを土台中力カバーの角穴に差し込み、梁中にボルト・ネジ板Bで取り付けます。他の棚支柱は、梱包内の組立説明書をご覧ください。



ボルト = 2本
ネジ板B = 2枚

■ ご使用にあたっての注意

1. この物置は、下記の強度基準で製作されています。
この基準をこえる条件でのご使用は避けてください。

(1)床荷重	—————	6000N/m ²
(2)棚荷重	—————	2500N/m ²
(3)壁・扉の強さ	—————	490N/m ²
(4)積雪荷重	一般型 ———	1200N/m ²
	多雪地型 ———	3100N/m ²

2. 熱や湿気に弱いものの収納には特にご注意ください。
また、衣料品などはビニール袋などに入れ、密封のうえ収納してください。
3. 一般型 0.6m、多雪地型 1mをこえないように雪下ろしをしてください。
また、建物の屋根から雪が落ちる場所への設置は避けてください。
4. 特に風当りの強い場所 (高い所・崖上)に設置する場合は、転倒防止に充分注意してください。
物置は強風により、ブロック (基礎) からズレて転倒する恐れがありますので、必ずアンカー工事を施してください。